

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	大田区田園調布南 8 - 2 3
園名	大田区立わかば保育園（4歳児クラス）

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然との関わり」(秋の自然物に触れながら、こどもがそれに気づいたり発見したりすることでイメージを広げ、自由に表現することを楽しむ)

<テーマの設定理由>

広い園庭や近くの土手でのびのび遊べる環境があり、保育の中では園庭にある木や木の実、草花で遊ぶことを楽しんでいる。
10月の園外保育ではドングリや、まつぼっくりを拾うことを楽しんだ。木の実や葉への興味・関心をひろげ、自然にある物を使って表現することを楽しむため。

2. 活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
① どんぐり、まつぼっくりの観察	30分程度	8人×3グループ
② 園庭での自然探しと観察	45分程度	8人×3グループ
③ 自然にある物を使って表現する	45分程度	8人×3グループ
④ 友達と「秋」を表現する	45分程度	8人×3グループ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

活動① ドングリ、まつぼっくり、虫眼鏡、図鑑、絵本

* こどもたちが丁寧に観察できるよう少人数に分け、虫眼鏡や図鑑を用意。

活動② ドングリ、まつぼっくり、虫眼鏡、図鑑、絵本、落ち葉、ライトテーブル

* 園庭にある様々な種類と色の葉を集めた。光を使って葉脈等が見えるようにした。

活動③ 葉、ドングリ、模造紙、絵具、パレット、絵筆、クレヨン、のり

* こどもたちが自然物の特徴に合わせて表現を楽しめるように素材を用意した。

活動④ これまで拾った落ち葉、これまで遊んできた色付きの落ち葉やフロッタージュ、大きな模造紙、一人用のA4程度の紙、ボンド、はさみ

* 友達と関わり合いながら表現を楽しめるよう大きな模造紙を床に貼った。

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- 活動① どんぐりやまつぼっくりをよく観察したり、虫眼鏡で観察したりするなど、興味に合わせて図鑑や絵本で調べた。
- 活動② 園庭にある様々な種類や色の葉を探して観察したり、調べたりした。
- 活動③ 見つけた自然物を使って表現を楽しんだ。
- 活動④ 友達と一緒にあって、自分たちなりの「秋」を表現した。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

- 活動①一人一人がじっくり見て発見した大きさ、色、形の違いを保育士や友達と伝えあった。
割っていたドングリの中身に興味を持った子が割ってみたことで、他の児童も興味を持っていた。
- 活動②葉の大きさ、色、形、においの違いに気が付いていた。光を当てると葉脈などが見え、いつもと違う様子に驚いていた。絵本を読んで葉に字が書けることを知り試していた。書ける葉と書けない葉があることに気が付いていた。葉の表と裏で色や感触が違うことに気づいていた。まつぼっくりを触っているうちに種が落ち、それがなにか何かを図鑑で調べ、種と気づき種探しを楽しんでいた。葉の裏にばつばつがあるものを見つけて調べたがわからなかったが、水でぬらすなどして試してみていた。
- 活動③絵具で葉に色を塗ると葉の表と裏でつき方に違いがあることに気づいた。手触りで気が付いた表と裏の違いをこども同士で伝え合っていた。絵具を塗った葉をスタンプして楽しんだり、紙に葉を貼ってさらにクレヨンで描いたりするなど、一人一人が表現を楽しんだ。絵具を混ぜて色の違いを楽しんだ。
- 活動④床に貼った大きな紙に最初は戸惑っていた。保育士が葉を組み合わせて貼ってみて、何に見えるか聞いてみると、いろいろな意見が出て、そこからイメージが広がり友達と会話を楽しみながら葉やドングリを貼ったり、絵を描いたりして表現がつながっていった。当日拾った葉は貼りやすく、以前拾った葉はつきにくいくことに疑問を持った子に他の児童が「かさかさだからだよ」と教える姿があった。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

一人一人の子どもの気づきや発見を友達や保育士と一緒に考えたり、調べたりしていくことでクラス全体の興味・関心が深まっていった。実際に試行錯誤する経験を積み重ねていくことで、次の「やってみよう」という気持ちを大切にしていきたい。